

コミュニティすえなり 運営委員会
第6次地域福祉推進計画について



宝塚市社会福祉協議会

平成29年度～33年度

第6次地域福祉推進計画

“安全で安心な楽しいまちをみんなで作ろう”

1. 計画策定にむけた調査

⇒我が国の現状と動向

2. 計画における基本目標

3. 推進する取り組み

1. 計画策定に向けた調査

ワーキングチームを発足。

・地域活動や会議等へ参加し、地域活動の参加者、活動者や当事者などから意見を伺いました。

1. 現状の課題
2. 生活ニーズ
3. 理想となる地域像

回答の多かった キーワード

1. 共通する課題

ひとのつながり・情報・居場所がない
当事者は社会参加が難しい

2. 理想の地域像

つながりあい＝連携、仕組み
子ども、企業、施設活用、防災
未来に向けた計画

コミュニティすえなりでの現状と課題

- ◆自治会に関すること（住民自治）
 - ・自治会加入率が低下
 - ・自治会とコミュニティが両輪となり、地区防災計画をすすめたい
- ◆高齢社会（生きがいづくり）
 - ・活動者の高齢化
 - ・高齢者の働く場をもっと提供してほしい
- ◆情報の把握（発見力）
 - ・どんな人が住んでいるか？わからない
 - ・体を動かしたいがどこで、やっているのか？を知らない
 - ・障害者の情報が入ってこない
 - ・住んでいる地域で相談できる場所がわからない
- ◆支援体制づくり（活動強化）
 - ・子どもの見守りを今後どうしていくか？
 - ・地域と専門職が連携して同じこもりがちな方を誘い出す体制づくり
 - ・認知症の方をどのように支えていくか？
 - ・自治会と各種団体（企業等）との連携を強化

我が国の状況と動向

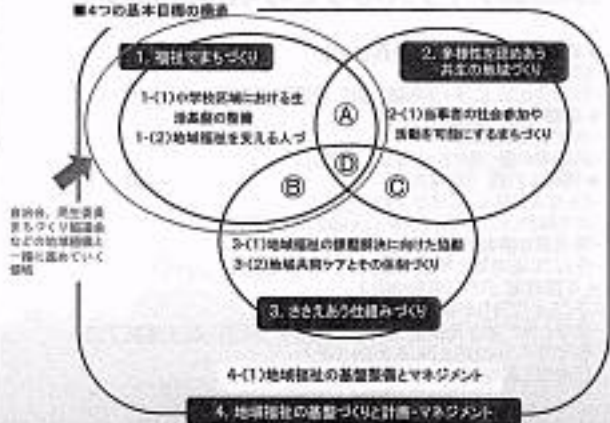
- 急速な高齢化
- 2025年をピークとした人口減少
- 高齢単身者と高齢世帯の増加傾向
- 近所づきあいの希薄化・社会的孤立
- 福祉の問題⇒社会の問題



- 住民が主役のまちづくり
- みんなで支えあう関係
- 自分発の健康活動
- プラス1による仲間づくり
- みんなで受け止め、みんなで相談
- ひと・居場所の発見（おたから探し）

2. 計画における基本目標

■4つの基本目標の関連



3. 推進する取組

①身近なエリアや小学校エリアで

- ・自治会範囲における見守り・支え合い活動の推進 = 地域ささえあい会議
- ・校区ネットワーク会議を課題解決型へ
- ・5年先を見越した福祉課題への取組 (まちづくり計画に盛り込むなど)

3. 推進する取組

①身近なエリアや小学校エリアで

- ・つながりづくりを可能とした居場所・拠点づくり
- ・相談等、人と人をつなぐ住民コーディネーターの育成と体制づくり
- ・地域と企業等の協働によるまちづくり

3. 推進する取組

②小学校エリアやブロックエリアで

- ・地域と社会福祉法人との協働による課題解決、資源活用、情報共有
- ・地域、専門職との情報共有と支援体制づくり
- ・災害時要援護者支援における地域内の連携

3. 推進する取組

③当事者の参画

- ・子ども・子育て世代のサポート
- ・認知症・ひきこもりの方などの活躍
- ・同じ課題を抱える方の仲間づくり
- ・専門職による解決のしくみづくり

コミュニティすえなりの活動と6次計画①

○居場所づくり・話し合いの場・まちづくり計画

- ・自治会活動の波及・啓発
- ・コミュニティの活動拠点の充実
- ・若い人の参加を促進する話し合い
- ・「思いを形にする」提案型まちづくり計画

コミュニティすえなりの活動と6次計画②

○福祉、民間企業との連携、災害時要援護者支援

・地域と医療や福祉法人の連携

・宝塚地域見守り隊との連携

・I地区で進めている災害時要援護者支援制度の充実と地域への啓発

コミュニティすえなりの活動と6次計画③

○当事者の活躍・仲間づくり

・高齢者の活躍の場として、子ども・子育て世代のサポート

・各活動に参加されている認知症の方が活躍できるプログラム

・災害時要援護者支援制度を活用し、障害者などの当事者の実態把握

まちづくり協議会の皆様へ

- ・従来の地域活動 + 1 = 開発
- ・5、10年先のビジョンづくり
- ・住民ができること
 専門職、民間企業に頼むこと
 一緒に取り組むこと
- ・地域の宝を見つけ出す。

最後に

・これから5年間、第6次地域福祉推進計画に基づき、皆様とともに、地域福祉を推進していきたいと考えております。

・地域の課題も地域の実情により異なります。従来の活動に課題解決に向える要素を少しでも、加えることで少しずつ、計画的に進めていければと考えております。

ご清聴ありがとうございました。

